

第4節

区民参加による環境づくり

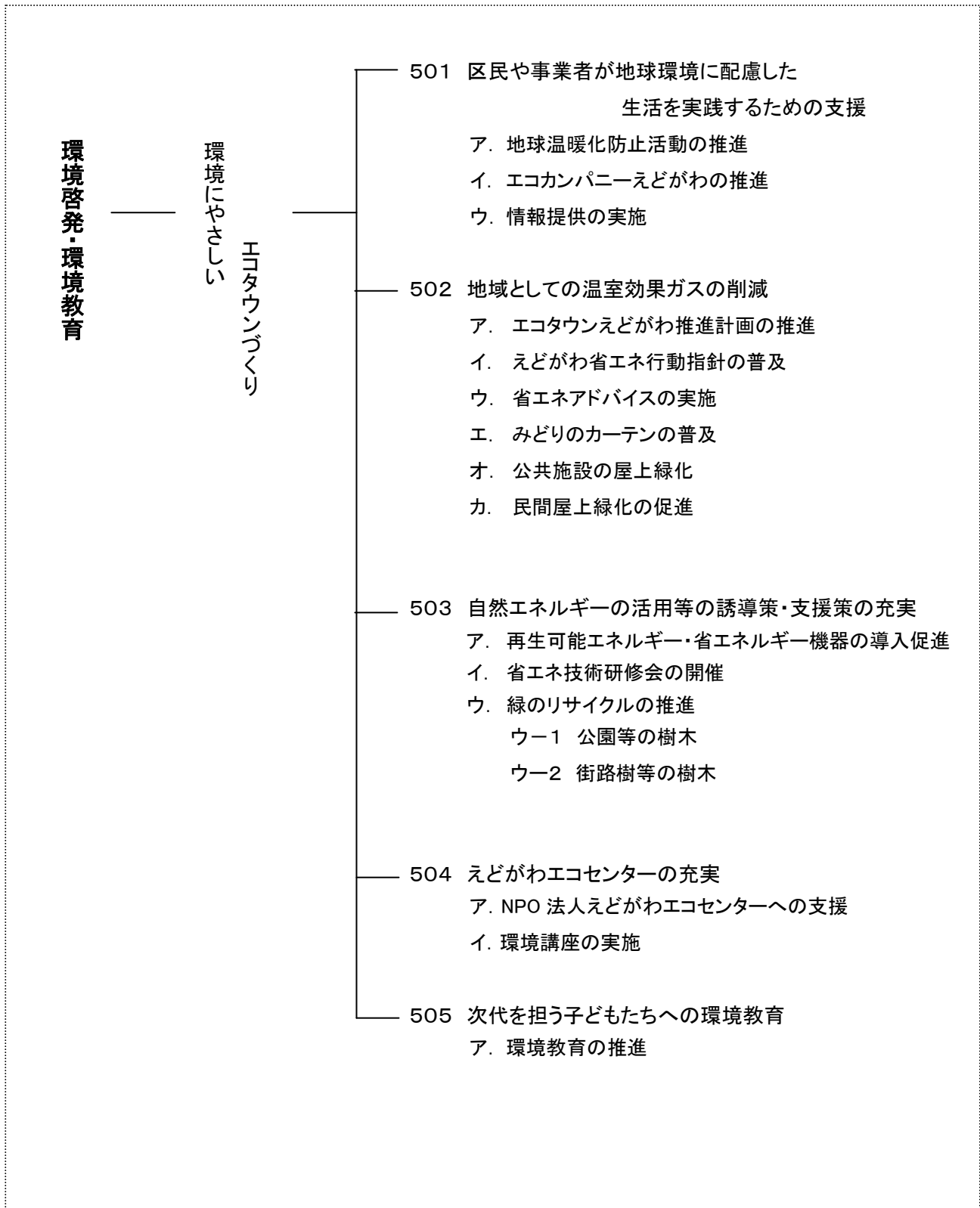
- 1 環境啓発・環境教育
 - (1) 環境にやさしいエコタウンづくり
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
 - (1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
 - (2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
 - (1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
 - (2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - (1) 生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、えどがわエコセンターと連携し、環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取組みにつなげます。

【施策体系図】



(1)環境にやさしいエコタウンづくり

501 区民や事業者が地球環境に配慮した生活を実践するための支援

地球温暖化防止を図るため、えどがわエコセンター*と連携し、省エネ・省資源・ごみ減量等にみんなが取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大します。併せて、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業*の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取組みを支援します。

※ **えどがわエコセンター**:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

※ **「エコカンパニーえどがわ」事業**:環境活動の取組みに対する宣言をした事業所を、「環境取組事業所」として登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
地球温暖化防止活動の推進		もったいない運動 えどがわの拡大	同左	同左
事業費		3,257千円	3,257千円	3,257千円
エコカンパニーえどがわの 推進		登録事業所の拡大 PR	同左	同左
		事業者の取組み支援	同左	同左
事業費		750千円	750千円	750千円
情報提供の実施		情報紙発行支援及び ホームページの充実	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

502 地域としての温室効果ガスの削減

地域をあげて地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画*の推進に努めます。また、えどがわ省エネ行動指針*の普及や省エネアドバイス*等により活動を拡大します。

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例*に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装*、保水性舗装*を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象*の抑制を図ります。

※ **エコタウンえどがわ推進計画**:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

※ **えどがわ省エネ行動指針**:平成 22～23 年度に実施した家庭の省エネ実験の結果から作成した江戸川区版省エネ行動指針。

※ **省エネアドバイス**:中小事業者を対象に節電アドバイザーを派遣し、それぞれの事業所にあった対策を提案する事業。

※ **住宅等整備事業における基準等に関する条例**:中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

※ **透水性舗装**:雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

※ **保水性舗装**:道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

※ **ヒートアイランド現象**:都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
エコタウンえどがわ推進計画 の推進		推進本部の運営	同左	同左
		計画の実施・周知	同左	同左
事業費		989千円	989千円	989千円
えどがわ省エネ行動指針 の普及		区民への普及	同左	同左

事業費	461千円	461千円	461千円
省エネアドバイスの実施	省エネアドバイスの実施	同左	同左
事業費	6,056千円	6,056千円	6,056千円
みどりのカーテンの普及	モニター事業	同左	同左
	区民への周知	同左	同左
事業費	——千円	——千円	——千円
公共施設の屋上緑化	1施設	3施設	同左
事業費	21,000千円	63,000千円	63,000千円
民間屋上緑化の促進	促進件数 100件	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「ー」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

503 自然エネルギーの活用等の誘導策・支援策の充実

住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を促進するため、えどがわエコセンターで実施する太陽エネルギー利用講習会への支援や、機器の導入に対する補助・支援制度の周知を行います。

省エネ技術研修会を開催し、環境に配慮した事業所の運営を支援するとともに、省エネルギー機器の効果等の紹介を行うことにより導入を促進します。

街路樹の剪定枝のチップ化を推進し、肥沃化を図って資源の有効活用を促進します。また、落葉の堆肥化を推進し、啓発に努めます。併せて、樹木の管理作業に伴う剪定枝葉の有効利用を図るため、チップ化、堆肥化等を活用する研究を推進し、リサイクルを促進します。

施策コード		503	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入促進		区民への情報提供	同左	同左	
事業費		——千円	——千円	——千円	
省エネ技術研修会の開催		省エネ技術研修会の開催	同左	同左	
事業費		99千円	99千円	99千円	
緑のリサイクルの推進	公園等の樹木	リサイクル率100% 剪定枝のチップ化 1,000m ³ 落ち葉の腐葉土化 300m ³	同左	同左	
	事業費	20,585千円	20,585千円	20,585千円	

	街路樹等の樹木	剪定枝リサイクル率 100% チップ化1,200m ³ 堆肥化200m ³	同左	同左
	事業費	17,073千円	17,073千円	17,073千円

「一」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

504 えどがわエコセンターの充実

区民、事業者及び区が連携・協働した環境活動の輪をさらに広げるため、その中心となるえどがわエコセンターの活動を支援します。また、地域の環境学習リーダーを育成するための「おきがる環境講座」や、家庭から出るごみを減らすための「生ごみリサイクル講習会」等の環境講座を、えどがわエコセンターと連携して実施します。

施策コード	504	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
NPO 法人えどがわエコセンターへの支援		活動支援	同左	同左
事業費		51,872千円	51,872千円	51,872千円
環境講座の実施		各種環境講座	同左	同左
		人材育成事業	同左	同左
事業費		1,015千円	1,015千円	1,015千円

505 次代を担う子どもたちへの環境教育

えどがわエコセンターで実施するグリーンプラン推進校※事業や、小・中学校の環境学習事業等を支援します。また、「学校版もったいない運動」と連携し、環境教育のさらなる拡大を図ります。

さらに、諸団体等が地域で行っている環境に関する活動に対して支援を行います。

※ **グリーンプラン推進校**:えどがわエコセンターと協働し、学校における環境学習を推進するモデル校。

施策コード	505	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
環境教育の推進		グリーンプラン推進校の拡大及び小中学校の環境学習支援	同左	同左
		学校版もったいない運動との連携	同左	同左
		地域の実情に合わせた活動の支援	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

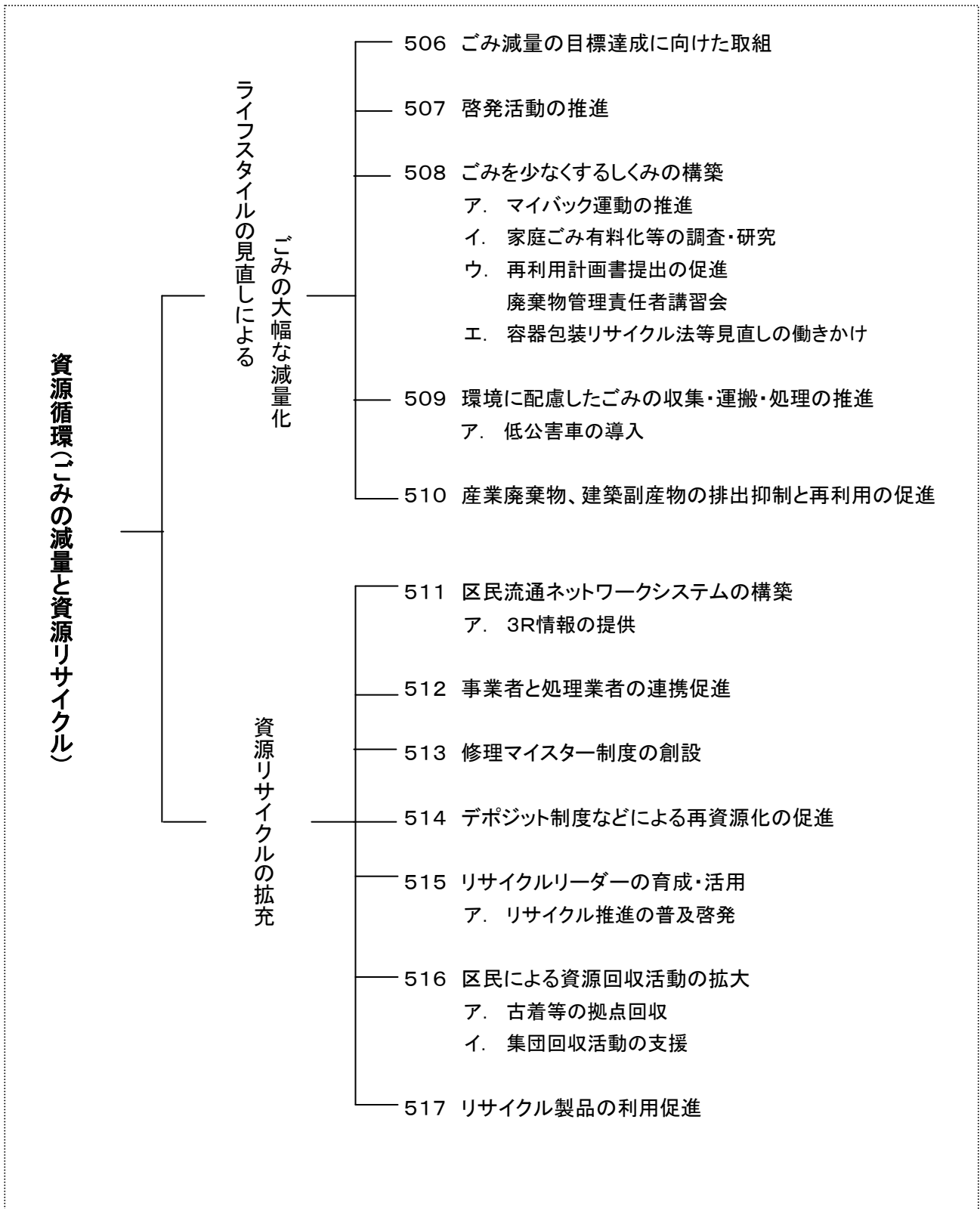
「一」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により一時減少しましたが、現在は人口増等により微増傾向にあり、ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1)ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

506 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成33年度までに平成12年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

507 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取組みを拡大するため、学校、町会・自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

508 ごみを少なくするしくみの構築

商店会やスーパー等の事業者、区民、区の三者が連携しながら、ごみ減量の取組みを推進します。

また、効果的なごみ減量施策のあり方について、学識経験者・区民・事業者の代表による廃棄物減量等推進審議会等で調査・研究します。

さらに、事業用面積が1,000㎡を超える大規模事業所を対象に、再利用計画書の作成・提出を促すとともに、廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者におけるごみの発生抑制、事業者処理責任の徹底を促進するとともに、拡大生産者責任に基づいて、事業者が主体的にリサイクルに取組むよう、国や事業者に働きかけを行います。

施策コード	508	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
マイバッグ運動の推進	マイバッグキャンペーン の実施 マイバッグコンテストの 実施		同左	同左
事業費		2,565千円	2,565千円	2,565千円
家庭ごみ有料化等の 調査・研究	廃棄物減量等推進 審議会の開催 組成調査の実施		同左	同左
事業費		3,090千円	3,090千円	3,090千円
再利用計画書提出の促進 廃棄物管理責任者講習会	実施		同左	同左
事業費		1,942千円	※※※千円	※※※千円
容器包装リサイクル法等 見直しの働きかけ	実施		同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

509 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	509	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
低公害車の導入		小型プレス車1台	耐用年数を越えた車両の買い替え時に導入	同左
事業費		8,295千円	※※※千円	※※※千円

510 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2) 資源リサイクルの拡充

511 区民流通ネットワークシステムの構築

区民の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))の取組みを促進するために、わかりやすい情報を情報紙や区ホームページ等を活用して提供します。

施策コード	511	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
3R情報の提供		3R店舗情報の提供 リサイクルバンク情報の提供	同左	同左
事業費		896千円	896千円	896千円

512 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

513 修理マイスター※制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成に取り組めます。

※ **マイスター**:ドイツのものづくりの「親方」。「親方の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

514 デポジット制度※などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取組みを検討します。

※ **デポジット制度**:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

515 リサイクルリーダーの育成・活用

リサイクルに関心のある区民を対象とする講座や見学会を実施し、ごみ減量・リサイクル活動の中心となる人材を育成します。

施策コード	515	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
リサイクル推進の普及啓発	リサイクル施設見学会等の実施 情報紙の発行	同左	同左	
事業費	8,145千円	8,145千円	8,145千円	

516 区民による資源回収活動の拡大

資源リサイクルを図るため、区民が主体となる集団回収活動を積極的に拡大します。

また、実施団体が安定的に運営できるよう、報奨金の支給、回収補助用具の支援等を行うとともに、未実施団体への働きかけを進めます。併せて、ごみ減量と資源化推進を図るため、区内施設を活用した古着等の拠点回収を実施します。

施策コード	516	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
古着等の拠点回収	古着・古布リサイクル 移動回収の実施	実施	同左	
事業費	6,177千円	7,400千円	7,400千円	
集団回収活動の支援	支援の実施 (実施団体638団体)	同左 (実施団体648団体)	同左 (実施団体658団体)	
事業費	94,114千円	95,000千円	96,000千円	

517 リサイクル製品の利用促進

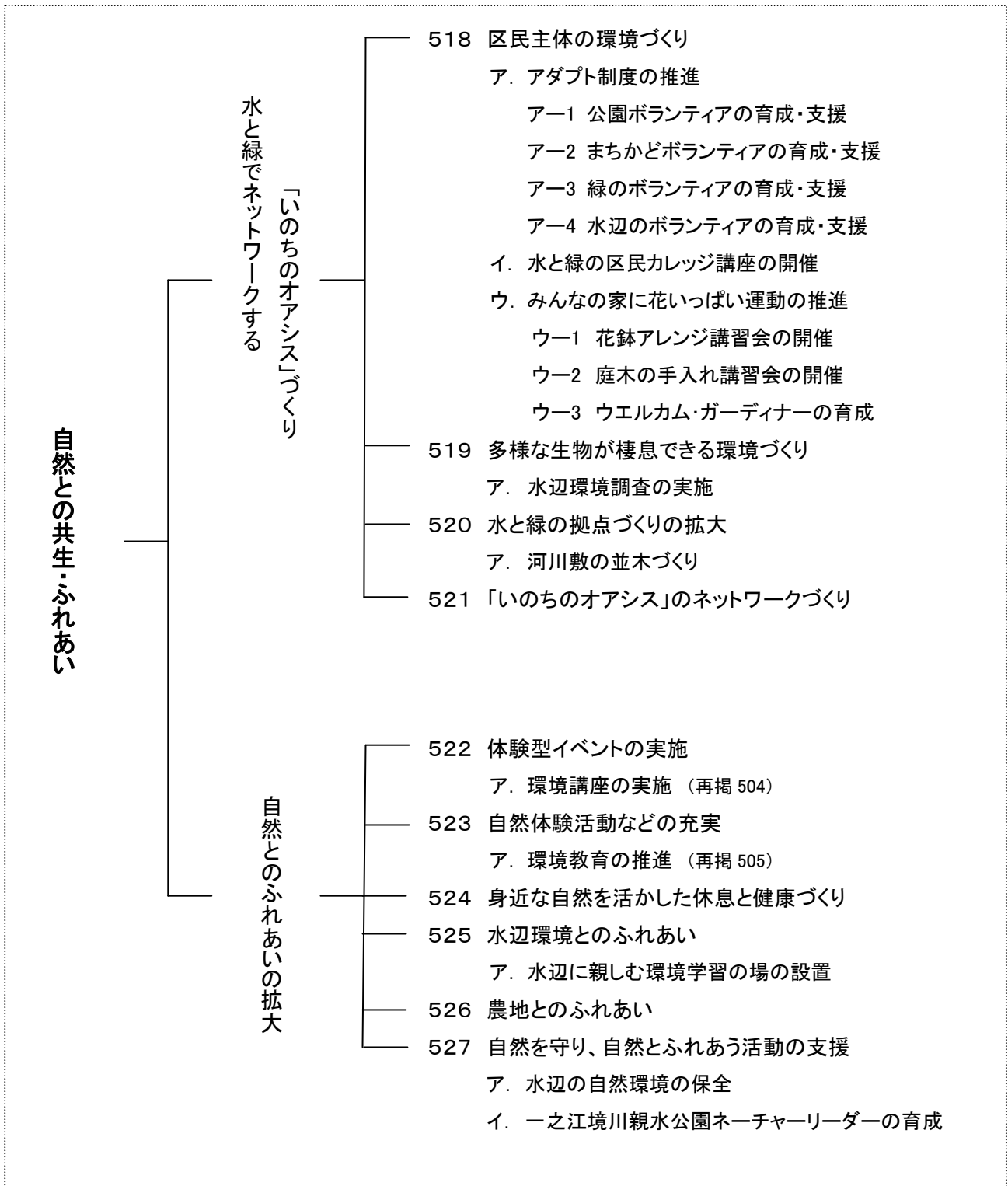
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうらおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

518 区民主体の環境づくり

アダプト制度※を利用した各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター※との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

※ アダプト活動:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

※ えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

施策コード		518	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度	
アダプト制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	7,216千円	7,216千円	7,216千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	51千円	51千円	51千円	
	緑のボランティアの育成・支援	活動の支援相談	同左	同左	
	事業費	304千円	304千円	304千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左	
	事業費	1,496千円	1,496千円	1,496千円	
水と緑の区民カレッジ講座の開催		25講座	同左	同左	
事業費		2,796千円	2,796千円	2,796千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	16会場	同左	同左	
	事業費	450千円	450千円	450千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会 9会場	同左	同左	
		花と緑の相談所 23会場	同左	同左	
	事業費	118千円	118千円	118千円	
	ウェルカム・ガーディナーの育成	5会場	同左	同左	
事業費	1,277千円	1,277千円	1,277千円		

519 多様な生物が棲息できる環境づくり

区民に身近なところで、より多様な生物が棲息できる環境づくりを推進します。また、水辺環境調査をえどがわエコセンターと連携して実施することで、現状把握を行い、そのデータを水辺の自然の保全活動に活用していきます。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
水辺環境調査の実施		水辺環境調査	同左	同左
事業費		1,829千円	1,829千円	1,829千円

520 水と緑の拠点づくりの拡大

河川の堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備に努めます。

施策コード	520	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
河川敷の並木づくり		新川の桜等 旧中川の桜等	新川の桜等	
事業費		14,805千円	31,000千円	

521 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

(2) 自然とのふれあいの拡大

522 体験型イベントの実施

えどがわエコセンターで実施する自然学習会、セミナー等の環境講座を支援します。

施策コード	522	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
環境講座の実施 再掲 504		環境講座	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「—」: 事業費は、環境講座の実施(施策コード 504)の中で計上しています。

523 自然体験活動などの充実

えどがわエコセンターを中心とした、諸団体が地域で行う環境に関する活動に対して支援を行います。

施策コード	523	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
環境教育の推進 再掲 505	地域の実情に合わせた 活動の支援	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「—」:事業費は、NPO 法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード 504)の中で計上しています。

524 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

525 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

また、江戸川、荒川等における住民活動を推進するとともに、河川環境の充実に向けて流域自治体間の交流及び連携の促進を図ります。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
水辺に親しむ環境学習の場 の設置	環境学習の場としての 活用 3箇所	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

526 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実に努めます。

527 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

多くの生き物が生息する水辺の自然生態系を支えるアシ原や草原を荒川将来像計画2010推進計画^{*}等に沿って保全していきます。

また、親水公園周辺に生息する生物や植物について学び、自然に親しみながら生物調査と環境学習指導者を育成します。

^{*}荒川将来像計画2010推進計画:平成8年に策定した荒川将来像計画全体構想書について見直しを行い、「放水路から川らしい水辺へ」をテーマとして、より魅力的な荒川の姿を示し実現するための新計画のこと。

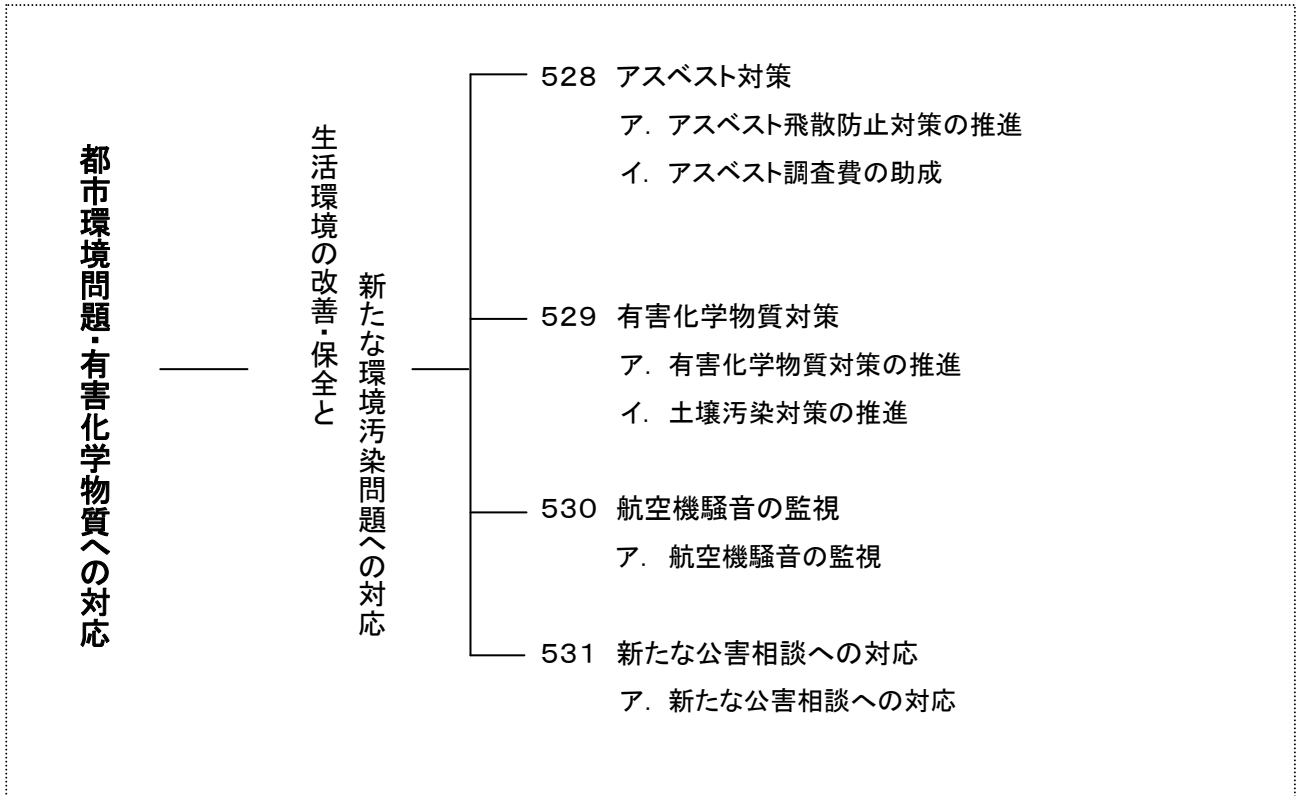
施策コード	527	年次計画		
計画事業内容	24年度	25年度	26年度	
水辺の自然環境の保全	草刈り等	同左	同左	
事業費	2,999千円	2,999千円	2,999千円	
一之江境川親水公園 ネイチャーリーダーの育成	ネイチャーリーダーの 育成支援等	同左	同左	
事業費	331千円	331千円	331千円	

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、国及び都と協力しながら、区民、事業者等とともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

528 アスベスト対策

アスベストを含む建材等が、建物の解体工事等により飛散する恐れがあることから、工事業者等に対してアスベストの確認や飛散防止について指導を強化します。

施策コード	528	年次計画		
		24年度	25年度	26年度
計画事業内容				
アスベスト飛散防止対策の推進	建物解体工事対策及び区内環境測定の実施		同左	同左
事業費		1,320千円	1,320千円	1,320千円
アスベスト調査費の助成	アスベスト調査費の助成		同左	同左
事業費		480千円	480千円	480千円

529 有害化学物質対策

国や都と連携し有害化学物質の把握に努め、事業者の適正な管理・使用を指導するとともに情報提供を行います。事業者の理解を得ながら、有害化学物質による汚染防止対策を推進します。

施策コード	529	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
有害化学物質対策の推進		事業場の調査・指導及び情報提供の実施	同左	同左
事業費		415千円	415千円	415千円
土壌汚染対策の推進		有害物取扱事業場の指導及び啓発の実施	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

530 航空機騒音の監視

羽田空港の悪天候時における区内着陸機の上空飛行による騒音影響を確認するため、清新町で航空機騒音測定の定点観測を継続するとともに、苦情・問い合わせが増加傾向にある離陸機の上空飛行に伴い発生する騒音についても監視を強化します。

また、国土交通省と航空機騒音低減に向けた協議を引き続き行っていきます。

施策コード	530	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
航空機騒音の監視		離陸機及び着陸機の騒音測定	同左	同左
		国土交通省との騒音低減に向けた協議	同左	同左
事業費		4,324千円	4,324千円	4,324千円

531 新たな公害相談への対応

空き家や生活騒音等の近隣問題から生じる様々な公害相談について、相談体制を充実させるとともに関係部署との連携を図り解決へ導きます。また、当事者間で自己解決できるように支援していきます。

施策コード	531	年次計画		
計画事業内容		24年度	25年度	26年度
新たな公害相談への対応		状況に応じた適切な対応	同左	同左
事業費		456千円	456千円	456千円